

事業計画

事業名	まつど de SDG s の輪を広げようプロジェクト事業
団体名	まつど地域活躍塾つながりの会
事業担当課	総合政策部 政策推進課 SDGs 推進担当室

事業概要
まつど地域活躍塾つながりの会(市民団体)と松戸市(行政)との連携・協働、市民参加型 SDGs 普及啓発による SDGs の一層の浸透・定着並びに行動意識を高めることを目的とし、市民参加型の SDGs をテーマとしたフェスティバル(まつり)、学習会や市民対話集会を開催する。

松戸市の課題	・ 2015 年 9 月に国連で 193 カ国の合意の下に定められた「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」は、2030 年までに世界の様々な課題をテーマとした 17 個の目標を達成していくことを目指しており、日本政府や大企業等でも、目標達成へ向けた取組みが進められている。 ・ SDGs 目標達成の 2024 年進捗レポート(Sustainable Development Report 2024)によれば日本の世界順位は 18 位となり前年(2023 年)の 21 位から順位は上がったが、現状で達成されているのは目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」だけで、残り 16 個の目標は課題が残っている。 ・ 松戸市は、2022 年 5 月に国の「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」に選ばれたこともあり、市民の中で SDGs の普及啓発による一層の理解浸透・定着を図りながら、市民レベルでの SDGs 達成に向けた行動に繋げていくことが求められる。こうした課題に対し、SDGs の目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」から、行政と市民社会が連携・協働し市民参加型のローカル SDGs 普及啓発を進める意義がある。
事業の目的	本事業では、まつど地域活躍塾つながりの会(市民団体)と松戸市(行政)とのパートナーシップにより市民に対しローカル SDGs の取組みに関与・参加する機会を創出することで、市民の SDGs に対する理解および行動意識を高めていくことを目的とする。
事業内容	1 事業内容 市民における SDGs の理解とその浸透・定着を図り、地域活性化や社会課題解決に取り組んでいく市民の行動意識を一層高めるため、「①SDGs フェスティバル(まつり)」、「②SDGs 地域学習会」、「③松戸市の SDGs 関係者を集めた市民対話集会」の主に 3 つ活動を行う。なお、本申請事業年度は協働事業の最終年度にあたることから、市民社会における SDGs 普及啓発活動のまとめと位置づけた取り組みを行う。 ① <u>SDGs フェスティバル(まつり)</u> ・ 時期・回数: 2025 年 7 月～9 月の中で 1 回開催 ・ 対象: 市民、団体

- ・ 市民を対象とした **SDGs** カルタや **SDGs** クイズの大会等を取り入れたイベントを開催し、楽しみながら **SDGs** を普及啓発する機会を設ける。
- ② **SDGs** 地域学習会
- ・ 時期・回数: 2025 年 9 月～12 月の中で 2 回開催
 - ・ 対象: 市民、団体
 - ・ 【第 1 回】 毎年、9～10 月に実施される松戸市消費生活展へのパネル展示を通じた地域学習会を開催し、市民への普及啓発活動を行う。
 - ・ 【第 2 回】 **SDGs** の内容につながる映画『食べることは生きること ～アリス・ウォータースのおいしい革命～』を視聴し、その内容に基づいて対話学習を実施する。
- ③ 松戸市の **SDGs** 関係者を集めた市民対話集会
- ・ 時期・回数: 2026 年 1 月～3 月の中で 1 回開催
 - ・ 対象: 市民、団体
 - ・ 当会が松戸市で実施してきた **SDGs** 関連の活動に参加した市民・団体等を集め、今後の松戸市としての **SDGs** の方向性に関する意見を集約し、松戸市の「**SDGs** 未来都市」を促進していくための助言を提供する。協働事業の申請は 3 年目と最終年となるため、全体のまとめ(方向性と課題の総括)の位置づけと、関係者への共有を図る目的で本集会を開催する。
- ④ その他
- ・ 3 年間の事業の中で、**SDGs** 教材開発が未完のままであるが、当会が松戸市消費生活展で作成したパネルを教材と位置付け、フェスティバル、地域学習会や対話集会の中で展示・活用を図る。
 - ・ 作成した **SDGs** 事例集は、ウェブサイト、イベント等で周知を図り、情報発信を行う。

2 スケジュール

	① フェスティバル(まつり)	② 地域学習会	③ 市民対話集会
2025 年 4 月	打合(市)		
5 月	準備		
6 月	広報作業	第 1 回地域学習会準備	
7 月	一般参加者募集	パネル作成	
8 月	フェスティバル開催 対象: 市民・団体 場所: サポセン		
9 月		第 2 回地域学習会準備	
10 月		第 1 回地域学習会開催(松戸消費生活展) 対象: 市民・団体 場所: 松戸市役所	
11 月		広報作業 一般参加者募集	打合(市)
12 月		第 2 回地域学習会開催(映画) 対象: 松戸市民 場所: サポセン	準備
2026 年 1 月			
2 月			対話集会開催 対象: 市民・団体

		3 月		場所:サボセン 事業総括(SDGs 推進室への提言等)	
事業の目標	当会と松戸市との連携・協働による市民参加型によるローカル SDGs の広がりを一層持たせるための今回の事業目標は、下記の通り主な 3 つの活動ごとに設定する。 ① <u>SDGs フェスティバル(まつり)</u> 市民 50 人以上が参加し、多くの市民に松戸市における SDGs 推進の理解の促進と行動変容を促す(参加した人にコメントを書いてもらい、その結果を集約して分析)。 ② <u>SDGs 地域学習会</u> 第 1・2 回目の地域学習会の開催に合計 70 人が参加し、SDGs への理解を深める(参加した人にコメントを書いてもらい、その結果を集約して分析)。 ③ <u>松戸市の SDGs 関係者を集めた対話集会</u> 開催する市民対話集会に参加した団体・市民等から、今後、松戸市の市民社会の中で SDGs を推進していくための内容を取りまとめ、市の SDGs 推進担当室に提出する。				
協働の必要性 (団体)	・ 当該事業を通して市と協働することで、引き続き松戸市の「SDGs 未来都市」としての取組みを後押し、市民社会でのローカル SDGs の推進に貢献したいと考えている。 ・ 市と協働することで、市民に向けて市からも情報発信され、より多くの市民にローカル SDGs の取組みを知ってもらい、市民社会で広く SDGs の必要性和理解を深め、行動意識を高めていくことにつながる。				
協働の必要性 (市)	・ 当会と連携することで、地域や市民に根差した SDGs 推進を進める上での相乗効果が期待できる。 ・ また、市民の立場で SDGs の普及啓発を行ってきた当会のこれまでの経験と実績、地域や人とのつながりを活かすことで、市の取組みとの連携の裾野拡大等が期待でき、協働する意義は大きいと考える。				
事業実施の役割 分担	【まつど地域活躍塾つながりの会】 各実施内容の募集・チラシ作成、講師・応募者・参加者等との連絡・調整、・SDGs フェスティバル(まつり)・地域学習会・市民対話集会の開催など 【松戸市 SDGs 推進担当室】 各実施内容への協力・助言、広報・情報発信、外部講師紹介、SDGs フェスティバル(まつり)・地域学習会・市民対話集会やフォーラム実施への協力、地域学習会の協働開催など				
今後の展望	松戸市との協働事業終了後、当会としては SDGs ネットワーク団体や関係者とのさらなるパートナーシップの強化を通じて、イベントやワークショップを継続的に開催し、収入源を得ていくことが一つの進め方として考えられる。また、松戸市で行われる松戸消費生活展等の催し物に出展し、人が多く集まる場を有効に活用しながら、SDGs 普及啓発活動の継続性を担保していきたいと考えている。さらに、松戸市とも情報共有を図る機会を必要に応じて設け、協力体制を維持しながら市民社会の中で「SDGs 未来都市」に貢献できるように取り組んでいきたい。				

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 248,292	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 9,507	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 9,507	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 85,563	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 95,070	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
	印刷製本費	¥ 10,000	SDGsフェスティバル(1回開催)のチラシ: 5円×1,000枚 地域学習(SDGs映画1回分)のチラシ印刷: 5円×1,000枚
	使用料及び賃借料	¥ 82,920	フェスティバル(まつど市民活動サポートセンター大会議室等): 660円/時間×5時間×1回 地域学習(SDGs映画1回分)(まつど市民活動サポートセンター大会議室等): 660円/時間×4時間×1回 対話集会まつど市民活動サポートセンター大会議室等): 660円/時間×3時間×1回 アリスウォーターズ映画視聴費用(1回): 55,000円 チラシデザイン費: (10,000円×2回)
	通信運搬費	¥ 2,150	関係者への資料・チラシ等の郵送代: 430円(レターパックライト)×5回
	対象経費の合計 (E)	¥ 95,070	
(その他 対象外 経費)		¥ 0	
		¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 95,070	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×1026円
	①SDGsフェスティバル(まつり) 打合せ	12,312 円	6 人 × 2 h × 1 回 × 1026 円
	フェスティバルの準備	6,156 円	6 人 × 1 h × 1 回 × 1026 円
	フェスティバルの実施	43,092 円	6 人 × 7 h × 1 回 × 1026 円
	フェスティバルの事後処理	2,052 円	2 人 × 1 h × 1 回 × 1026 円
	②SDGsの地域学習 打合せ	12,312 円	6 人 × 1 h × 2 回 × 1026 円
	地域学習会の準備	12,312 円	6 人 × 1 h × 2 回 × 1026 円
	地域学習会の実施	98,496 円	6 人 × 8 h × 2 回 × 1026 円
	地域学習会の事後処理	4,104 円	2 人 × 1 h × 2 回 × 1026 円
	③松戸市のSDGs関係者を集めた市 民対話集会 打合せ	6,156 円	6 人 × 1 h × 1 回 × 1026 円
	市民対話集会の準備	6,156 円	6 人 × 1 h × 1 回 × 1026 円
	市民対話集会の実施	43,092 円	6 人 × 7 h × 1 回 × 1026 円
	市民対話集会の事後処理	2,052 円	2 人 × 1 h × 1 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
合 計 (A)		248,292 円	